

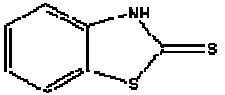
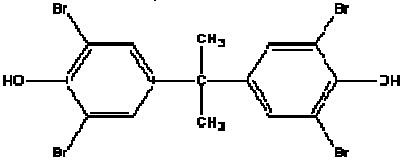
(5) 次期有害物ばく露作業報告検討候補物質[吉田委員追加指摘による]

【吉田委員追加指摘】

資料1-4の2物質に加えて、資料1-3の中の以下の物質は製造・輸入実績がありますので、追加の選択候補になり得ると思います。ご検討時の材料にいただければ幸いです。

CAS 149-30-4 2-メルカプトベンゾチアゾール 種別3(1):2017年度の製造・輸入量 1~<1000 t
CAS 79-94-7 テトラブロモビスフェノールA 種別3(1):2017年度の製造・輸入量 10000~20000 t

【以下、事務局調べ(吉田委員からの指摘を受けて追加で整理したもの)】

No.	グループ	名称(CASNo.)、構造式	物理・化学的性質 (※1)	用途(※1) 及び 製造量等(※2)	発がん性 評価区分等	その他の有害性 (GHS分類が区分1 のもの)(※1)	管理濃度等 (※3) (※4)	作業環境の 測定方法	備考
3	IARCでGroup2B 以上の評価となっ ている物	2-メルカプトベンゾチアゾール 《2-ベンゾチアゾールチオール》 (149-30-4) 	固体 黄色 不快なにおい、特徴的なにおい 融点 180~182℃ 沸点 260℃(分解) 蒸気圧 4.64×10 ⁻⁴ mmHg (25℃) 比重(相対密度) 1.42	有機ゴム薬品(加硫促進剤) 製造・輸入量 10,000t	IARC 115 group 2B (ヒトに対し て発がんの可 能性がある)	皮膚感作性 区分1	日本産衛学会 未設定 ACGIH 未設定	PubChemでは、 水及びゴム製品に おける残留につい てのHPLCでの分 析に係る文献が1 件ずつ(計2件) 見られる	
4	IARCでGroup2B 以上の評価となっ ている物	テトラブロモビスフェノールA 《2,2'-ビス(4'-ヒドロ キシ-3',5'-ジブロモフェ ニル)プロパン》 (79-94-7) 	固体 白色 臭い データ無し 融点 179℃ 沸点 316℃ 蒸気圧 1.37×10 ⁻⁸ mmHg (25℃) 比重(相対密度) データ無し	難燃剤 製造・輸入量 10,000t	IARC 115 group 2A (ヒトに対し て発がんの可 能性がある)	生殖毒性 区分1B(追 加:授乳に対する、 又は授乳を介した影 響)	日本産衛学会 吸入性粉じん 2mg/m ³ 総粉じん 8mg/m ³ ACGIH 未設定	PubChemでは、 GC, GC-MS, HPLC等の各手法 に係るWHOの文 献等が複数見られ る	

※1 職場のあんぜんサイト(厚生労働省HP)のモデルSDS情報

※2 平成29年度一般化学物質の製造・輸入数量(経済産業省)

※3 日本産業衛生学会の許容濃度の勧告(2018年度)

※4 2018 ACGIH化学物質のTLVs(ACGIHのばく露限界値)

TWA: 8時間時間加重平均, STEL: 短時間ばく露限界, Skin: 経皮吸収